

<速報>

* 6月1日（日本）、安倍首相が国会会期末を受けて官邸で記者会見し、来年4月に予定されていた消費税率10%への引き上げを2019年10月まで2年半再延期することを正式に表明した。

* 6月1日、戦時中に日本に強制連行され過酷な労働を強いられたとして中国人元労働者らが日本企業に損害賠償を求めている問題で、三菱マテリアル（旧三菱鉱業）が1人当たり10万円の謝罪金を支払うことなどで生存する元労働者3人と和解した。

* 6月1日、ソマリア南部ジュバランド自治政権高官が2015年4月のケニア南部ガリッサ大学襲撃事件の首謀者とされる「アルシャバブ」幹部を殺害したと発表。

* 6月1日、ソマリアの首都モガディシオ中心部のホテルに対し自爆と銃撃による攻撃があり、同国議員2人を含む15人が死亡した。

* 6月2日、ドイツ連邦議会が第1次世界大戦期にオスマン帝国で起きたアルメニア人迫害を「ジェノサイド」とみなし、アルメニアとトルコに和解を促す決議を賛成多数で採択した。

* 6月2日（日本）、横浜地裁川崎支部が「ヘイトスピーチ」を繰り返す団体の主催者が川崎市で5日にデモを予定していることをめぐり、在日コリアンの男性が理事長を務める市内の社会福祉法人「青丘社」から半径500メートル以内でのデモを禁止する仮処分決定を出した。

* 6月2日、米国国務省がテロ年次報告書を発表、昨年92か国で計1万1774件のテロが発生し、犠牲者は2万1404人で前年により約5千人減少した。テロの実行犯を含む死者は2万8328人で前年より約14%減った。死者の約74%がイラク、アフガニスタン、ナイジェリア、シリア、パキスタンの5ヶ国に集中している。

* 6月2日、ドイツ連邦検察当局が、「イスラム国」の指示を受け、デュッセルドルフで自爆テロを計画していた容疑でシリア人の男3人を逮捕したと発表した。

* 6月2~3日、リビア赤新月社が同国西部のチオ仲介沿岸の町ズワラの海岸で欧州を目指していた難民と見られる117人の遺体が見つかったと発表した。

* 6月3日、プロボクシングの元ヘビー級王者のモハメド・アリ（旧名カシアス・クレイ、74）が死去。

* 6月4日、シリアのアサド政権軍が「イスラム国」が首都とするラッカ県に南西部から進軍した。北方からはクルド人の「シリア民主軍（SDF）」が進撃中。

* 6月4日（日本）、安保法制廃止と立憲主義の回復を求める市民連合（市民連合）が東京都内で記者会見し、参院選挙で野党を勝利させ、安倍政権を退陣に追い込んでいくと表明。市民連合と政権協定を結んだ参院選1人区の候補者は15人になったと発表。

* 6月4日、韓国の尹炳世外相がカリブ諸国連合の首脳会議にオブザーバーとして参加するため、キューバの首都ハバナを訪問。5日、同外相はキューバのロドリゲス外相と会談、会談後「国交正常化を念頭に努力していく」考えを強調した。

* 6月4日、ニジェール国防省が隣国ナイジェリアと国境を接する南東部ボソで、3日「ボコハラム」が軍施設を攻撃し、ニジェール兵30人、ナイジェリア兵2人が死亡したと発表した。

* 6月5日（日本）、安保関連法の廃止を訴える「そうがかり行動」が全国50ヶ所以上で抗議行動を実施、東京の国会周辺には約4万人が集まった。

* 6月5日（日本）、川崎市中原区で排外主義的な団体が計画した十数人のデモが出発したが、反対する市民数百人が取り囲んで中止させた。

* 6月5日（日本）、沖縄県議会選挙（定数48）が行われ翁長雄志県知事の与党が27議席を獲得して勝利。

* 6月5日、シリアのクルド人民兵主体の「シリア民主軍（SDF）」が「イスラム国」が支配するシリア北部の要衝マンビジから5キロ以内の地点まで進撃した。

* 6月5日に実施されたペルーの大統領選挙決選投票でペドロ・パブロ・クチンスキー元首相（77）が僅差で勝利。ペドロ・パブロ・クチンスキー元首相（77）が50.12%、ケイコ・フジモリ（41）が49.88%の僅差でクチンスキー元首相が勝利。

* 6月6日、ウクライナ保安局（SBU）が親ロシア派武装勢力が事実上支配する同国東部で大量の武器を入手し、10日からフランスで開催されるサッカーの欧州選手権期間中に同国で大規模なテロを計画していたとしてフランス国籍の男性（25）を逮捕したと発表した。

* 6月7日、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）が中東やアフリカからの難民らが欧州を目指して地中海を渡る動きが強まった2014年以降、2014年に3500人、2015年に3771人が渡航中に死亡し、2016年は2814人に達して急増していると指摘した。

* 6月7日、米国大統領選挙で民主党がカリフォルニア州やニュージャージー州など6州で予備選・党員集会を実施し、クリントン前国務長官が代議員総数の過半数を確保して勝利宣言を行った。

* 6月7日、トルコの最大都市イスタンブール中心部で爆発があり、警察車両などが破壊され、警察官7人と市民4人が死亡し、36人が負傷した。10日、クルド人の武装組織「クルディスタンのタカ（TAK）」が犯行声明を発出。

* 6月8日、ブラジルの世論調査機関がテメル大統領代行が率いる暫定政権の支持率が11.3%にとどまったと発表。

* 6月8日、シリアのアサド政権が北部アレッポ近郊の反体制派に対する空爆を実効、少なくとも民間人15人が死亡。

* 6月8日夜、イスラエル中部の商業都市テルアビブ中心部の大規模商業施設で男2人が客に向かって銃を乱射し、市民4人が死亡、6人が負傷した。警察は容疑者のパレスチナ人2人を拘束した。

* 6月9日、イラクの首都バグダッドとその近郊で爆弾テロ発生し、少なくとも計2人が死

亡し、70人以上が負傷した。

* 6月9日、インドネシア警察が第2の都市スラバヤで自爆テロを実行する計画を立てていたとしてイスラム過激派の男3人を逮捕したと発表した。

* 6月10日、米国運輸省がアメリカン航空など米国の航空会社6社にキューバとの定期便の就航を認めたと発表した。6社は米国の5都市とキューバの9都市（ハバナは含まれず）間に定期便を1日最大10往復便運航する。

* 6月12日、シリア北西部イドリブ県内の「ヌスラ戦線」支配地域のイドリブ市とマアッラト・ヌウマーン市の2市でアサド政権側の戦闘機による空爆があり、子ども14人を含む計41人が死亡した。

* 6月12日未明、米国フロリダ州オーランドのナイトクラブ「パルス」で男が銃を乱射し、49人が死亡、53人が負傷した。容疑者アマル・マティーン（29）の両親はアフガニスタン出身者。容疑者は「イスラム国」に忠誠を誓っていたほか、「イスラム国」系のメディア『アーマク』が犯行を認める記事を発信した。マティーン容疑者の父親は「タリバーン」支持者であると見られる。

* 6月13日、フランスのパリ西郊マニャンビルの警察幹部宅前で同幹部が刺殺され、その後、実行犯は家族を人質にとって同宅に立てこもった。特殊部隊が突入したが、幹部の妻が遺体で発見された。14日、オランダ大統領は「疑いようのないテロ行為」であると発言。

* 6月14日、フランス各地でフランス政府が進める労働法改正案、通商「エルコムリ法案」に抗議する大講堂が行われ、全国で130万人が参加、過去最大の規模となった。

* 6月16日午後、イギリス中部リーズ郊外の町バーストルで野党・労働党の女性下院議員ジョー・コックス議員（41）が銃で撃たれて死亡した。同議員は格差や貧困、難民問題に取り組み、EU離脱問題では残留を主張していた。実行犯は極右派。

* 6月17日、イラク政府軍が「イスラム国」支配下にあるファルージャの奪還作戦を4週間にわたって続けてきたが、同日同市の市庁舎など中心部を奪還した。同日、アバディ首相がファルージャを「解放した」と宣言した。

* 6月17日、ブラジルのリオ・デ・ジャネイロ州政府が財政難が深刻だとして「緊急事態」を宣言した。州都であるリオ・デ・ジャネイロが8月に開催するオリンピックを前に、治安や交通といった公共サービスなどの面で責任を果たせない状態にあるとしている。

* 6月18日、エジプト・カイロの刑事裁判所が2013年に軍の介入で解任・拘束されたムルシ元大統領と側近2人に対して、カタールに国家機密を漏洩したとして終身刑を言い渡した。

* 6月18日、ベルギー検察がテロ捜査の一環で17日夜から18日にかけてブリュッセルのモレンベーク地区など数十ヶ所で家宅捜査を実施し、12人を拘束したと発表した。フランスで開催されるサッカー欧州選手権で18日にベルギー代表の試合が開催されるのに合わせ、ベルギーでテロ攻撃を計画していた疑いがある。

* 6月18日、フィリピンの二大イスラム組織（モロ・イスラム解放戦線 MILF、モロ民族

解放戦線 MNLPF) が憲法を改定して連邦国家にすることでドゥアルテ次期大統領と一致したと発表した。

* 6月18~19日、ドイツの主要都市で「人間の鎖」で人種差別に反対する行動が行われ、計4万人が参加した。ベルリン(9000人)、ハンブルグ(7000人)、ミュンヘン(6000人)、ライプチヒ(2500人)等。

* 6月19日未明、ブラジルのリオデジャネイロで市最大の救急病院を約25人の麻薬組織の武装集団が襲撃し、警備警官との間で銃撃戦になったが、警察監視下で入院中であった組織幹部を連れて逃走した。警官1人が志納、看護師と警官1人が負傷した。

* 6月19日(日本)、米軍軍属による女性殺害事件に抗議する県民大会が那覇市の奥武山陸上競技場で開かれ、主催者発表で約6万5000人が参加。東京の国会前でも抗議集会が行われ約1万人が参加。

* 6月19日、イランの政府系日刊紙『イラン』が民間航空機構のアベドザデ総裁が米国ボーイング社から航空機100機を購入することで合意したと発表したと報じた。イランの核開発に対する制裁が1月に解除されたことに基づく措置。

* 6月19日、イタリア主要都市の首長選挙が行われ、首都ローマと北部トリノで新興政党「5つ星運動」の候補者が当選。ローマでは女性弁護士のビルジニア・ラッジ氏(37)が67%の得票率で当選、ローマ発の女性市長となる。

* 6月20日、アフガニスタンの首都カブールで民間警備会社の通勤用小型バスの近くで自爆事件が発生し、バスに乗っていたネパール人14人が死亡、通行人を含む5人が負傷した。

* 6月20日、トルコの治安当局が「テロ組織の宣伝をした」容疑で、国際NGO「国境なき記者団」のトルコ事務所代表のアフメット・ネシン氏ら3人を逮捕した。同氏ら3人はクルド系の日刊紙『オズギュル・グエンデム』紙で「1日編集長」を務めるキャンペーンに参加。治安当局は同紙はPKKを支援しているとしている。

* 6月20日、国連難民高等弁務官事務所が「世界難民の日」の同日、難民らに関する報告書を発表し、紛争や迫害により家を追われた人の数が2015年末時点で6530万人に上り、過去最多となったことを明らかにした。

* 6月20日、米国上院が銃規制を強化する法案4本について採決に進むための動議が提出されたが、いずれの法案も必要とされる60票を得られず、採決されなかった。

* 6月20日、バーレーン内務省が同国のイスラム教シーア派指導者カシム師の市民権を剥奪したことを明らかにした。

* 6月21日、ヨルダン北東部ルクバンのシリア国境付近で自動車爆弾が爆発、国境警備の兵士ら7人が死亡した。26日「イスラム国」が犯行声明を発表した。

* 6月21日、米国国防総省のクック報道官は「イスラム国」が支配していたイラク中部の重要都市ファルージャについて「3分の1」を奪還したと公表した。アバディ首相は17日ファルージャを「解放した」と表明したが、国防総省は戦闘が続いているとした。

* 6月22日、民主党の指名獲得を確実にしたクリントン前国務長官が経済政策について、同氏が「再交渉」を明言したのは初めて。

* 6月22日、北朝鮮が日本海側の江原道元山付近から、ムスダン中距離弾道ミサイル（射程3000キロ）とみられる飛翔体2発を発射した。韓国軍合同参謀本部が明らかにした。参謀本部関係者は発射が成功したとの見方を示した。

* 6月22日、コロンビア政府とFARCが停戦に合意したとする共同声明を発表した。両者の交渉は停戦後のプロセスなどをめぐって続く。23日、コロンビア政府とFARCがキューバのハママで停戦協定に署名した。ラウル・カストロ国家評議会議長が立ち会った。

* 6月23日、オバマ政権の移民制度改革の合法性をめぐる訴訟で連邦最高裁が判事の意見が同図で分かれ、判断できないと発表した。制度の実施を際しとめた下級審の決定が維持され、一定の条件を満たす不法移民の国内滞在の資格を開くはずであった改革が、オバマ政権任期内に進む可能性は実質的になくなった。

* 6月23日、イギリスのEUからの離脱を問う国民投票が実施され（投票率72.2%）、開票の結果、離脱票1741万0742票（51.9%）、残留票が1614万1241票（48.1%）となり離脱票が上回った。

* 6月23日、ロシアが上海協力機構へのイラン加盟（現在はオブザーバー、2008年に加盟を申請）を推進する方針を明らかにした。

* 6月24日、スペインのガリシアマルケス外相が地元ラジオでイギリスが国民投票でEU離脱を決めたことを踏まえ、スペイン南部の英領ジブラルタルについて「EU内市場へのアクセスを確保する仕組みが必要だ」と述べ、魏リストスペインによる共同統治も検討すべきだとの考えを示した。

* 6月25日、スコットランド自治政府のスタージョン首相がイギリスのEUからの離脱が決まったことを受け、緊急閣議を開催し、終了後の記者会見で「EUにおけるスコットランドの地位を守るためのあらゆる選択肢を検討する」、EU側に直ちに協議を求めの方針を決めたと公表した。また、否決された2014年に続く2度目の独立を問う住民投票実施に向けた法制化の作業を開始することを明らかにした。

* 6月25日、ソマリアの首都モガディシオで「アルシャバブ」がホテルを襲撃し、少なくとも11人が死亡、約20人が負傷した。

* 6月25日、アイスランドの大統領選挙が実施され、無所属で新顔のグズニ・ヨハネソン氏（48）が勝利した。得票率は約39.1%。同氏はアイスランド大学の歴史学教員。

* 6月26日、シリア東部の「イスラム国」支配地域のデリゾール県クリヤで政府軍またはロシア軍によると見られる空爆があり、少なくとも58人の民間人を含む82人が死亡した。

* 6月26日、イラク政府軍が「イスラム国」が占領していた中部の都市ファルージャについて「全域を解放した。戦闘は終結した」と発表した。27日、米国国防省がファルージャが解放されたことを確認したと発表。

* 6月26日、パナマ運河で従来の3倍近い貨物量の大型船が航行できる新ルートが開通した。幅49メートルの大型コンテナや大型タンカーにも対応できる。

* 6月26日、イスラエルとトルコが関係正常化で合意した。両国は召還した大使を再び申明する。

* 6月26日、スペインで出直し総選挙（350議席）が実施され、PPが137（前回124）、社労党が85（前回90）、ウニドス・ポデモス71（前回71、統一左翼が2から8に増加）、シウダダノスが32（前回40）、その他25（前回28）となった。投票率は前回より3%以上低下して69.8%であった。

* 6月27日、イギリスのオズボーン財務相がEUへの離脱通知について「EUとの間でどんな新しい協定を求めるか、明確な見解を持っていない」として、離脱通知を先送りする姿勢を示した。27日夜、メルケル首相がオランダ大統領、イタリアのレンツィ首相と会談、会談後の記者会見で3首脳の合意としてイギリスがEU離脱の通知をしない限り「公式、非公式を問わず交渉には応じない」と明言した。

* 6月26日、イスラエルとトルコが関係正常化の和解案に合意した。両国は2010年5月に起きたガザ支援船拿捕事件、イスラエルの封鎖が続くパレスチナ自治区ガザに支援物資を届けようとした6隻の船に対してイスラエル軍が強行突入してトルコ人の人権活動家ら9人が死亡した事件後悪化した。

* 6月26日夕、パナマ運河で新たなルートを一部追加した拡張工事が終了し、開通式が行われた。総事業費は52億5000万ドル。

* 6月27日、米国国防総省がイラク中部の重要都市ファルージャが「イスラム国」から解放されたことを確認したと発表した。

* 6月27日、イエメン南部の港湾都市ムカラで政府軍を標的とした自爆などによる爆弾攻撃が少なくとも3回あり、計42人が死亡した。「イスラム国」が犯行声明を発出。

* 6月28日夜、トルコの最大都市イスタンブールのアタチュルク国際空港で爆発事件が発生し、市民と警察官を合わせて計42人が死亡した。トルコ当局は武装した3人が発砲して自爆したと発表。実行犯3人はロシア、キルギス、ウズベキスタン国籍。トルコ当局は3人以外に13人を拘束、うち3人は外国人としている。実行犯を背後で指揮したのは、チェチェン出身のアフメト・チャダエフ容疑者か。

* 6月29日、インド捜査当局が南部の主要都市ハイデラバードでの強制捜査で「イスラム国」の工作員とみられる5人を逮捕した。

* 6月29日、イギリスを除くEU27ヶ国4がブリュッセルで非公式首脳会議を開き、イギリスに対して「できるだけ早期に離脱通告すべきだ」と求める声明をまとめた。

* 6月29日、ロシアのプーチン大統領がトルコのエルドアン大統領と電話会談し、両国首脳は両国関係の修復を合意した。昨年11月にトルコ軍機がトルコ・シリア国境付近でロシア軍機を撃墜、両国は領空侵犯や撃墜などを含め互いに非難し、関係が悪化していた。

* 6月29日、米国上院が財政難に陥ったプエルトリコの債務再編を進めるための法案を

賛成多数で可決した。プエルトリコは約700億ドルの債務を抱えている。

* 6月30日、アフガニスタンの首都カブール郊外の路上で警察の車列を狙って2回の額発があり、警察官ら少なくとも38人が死亡した、40人が負傷した。「タリバン」が犯行声明。